

ガスふろ給湯器

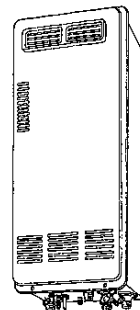
31-213/214型

型式名 GT-16BSAW
GT-16BSAW-C

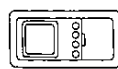
本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社	☎550	大阪市西区千代崎3-2-95	☎大 阪	06(586)3200
南部支社	☎590	堺市住吉橋町2-2-19	☎堺	0722(38)1131
北部支社	☎569	高槻市藤の里町39-6	☎高 槻	0726(71)0361
東部支社	☎578	東大阪市稲葉2-3-17	☎河 内	0729(62)1131
兵庫支社	☎650	神戸市中央区東川崎町1-8-2	☎神 戸	078(360)3100
京都支社	☎600	京都市下京区中堂寺薬田町1	☎京 都	075(311)7381
奈良支社	☎631	奈良市学園北2-4-1	☎奈 良	0742(44)1111
和歌山支社	☎640	和歌山市本町1-5	☎和歌山	0734(31)2481
兵庫西支社	☎670	姫路市神屋町4-8	☎姫 路	0792(85)2221
豊岡支社	☎668	豊岡市三坂町6-5-7	☎豊 岡	0796(23)2221
滋賀支社	☎525	草津市西大路町5-3-4	☎草 津	0775(62)5311
滋賀東支社	☎522	彦根市大東町12-1-1	☎彦 根	0749(22)3131
(長浜営業センター)	☎526	長浜市南呉服町3-4	☎長 浜	0749(62)7171
本社・ガスビルサービスセンター	☎541	大阪市中央区平野町4-1-2	☎大 阪	06(202)2221

大阪ガス株式会社



(31-213型)



(浴室リモコン)



(台所リモコン)

取扱説明書

もくじ

必ずお守りください(安全上の注意)	1
各部のなまえとはたらき	6
使いかた	
初めてお使いになるときは	11
お湯の出しかた	13
お風呂の自動運転のしかた	15
お風呂の沸かし直ししかた	17
「あったか」運転のしかた	19
「たっぶり」運転のしかた	20
「ぬるめ」運転のしかた	21
浴室からの呼び出しかた	22
操作確認音の消しかた、鳴らしかた	22
お風呂の予約運転のしかた	23
冬期の凍結による破損予防	25
日常の点検・手入れのしかた	28
故障かな?と思ったら	30
アフターサービスについて	35
主な仕様	36

大阪ガス

このたびは大阪ガスのガスふろ給湯器をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- この説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 別添の保証書の内容もよくお読みいただき、必ずお買い上げ日・販売店名等の記入を確かめてください。
- この説明書はいつでもご覧になれるところに保管してください。

「おねがい」:

ガスくさいときは、ガス栓を閉め、窓を全開にして(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。

必ずお守りください(安全上の注意)

安全に正しくお使いいただくために

取扱いを誤った場合に危害・損害の程度を、つぎのように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	お願い	安全に、快適に、使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解して正しくお使いください。

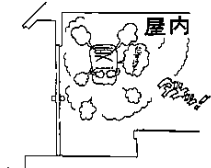
絵表示	意味	絵表示	意味
	特定しない一般的な警告・注意		特定しない一般的な禁止
	感電注意		火気禁止
	高温注意		接触禁止
	電源プラグを抜く		分解禁止
	必ずおこなう		

危険

屋内設置の禁止



禁止



- この機器は屋外設置形です。屋内(浴室内含む)への設置は絶対にしてしないでください。一酸化炭素中毒の原因になります。

警告

使用ガス、電源の確認



※製造年を照しませます。

- 銘板(ラベル)に表示しているガスの種類(ガスグループ)以外では使用しないでください。
- 表示以外のガスで使用すると、異常な燃焼、点火の時の爆発などの原因になります。
- 電源はAC100V、50Hzまたは60Hz用です。他の電源で使用すると、火災・感電の原因になります。

ガス漏れ時の処置



火気禁止

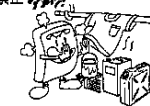


1. すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。
 2. お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社に連絡する。
- 全ての処置が終わるまで
- 火をつけないでください。
 - 電気器具(換気扇など)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

火災の予防



禁止



- 機器の上や排気口のまわりに燃えやすい物(新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など)を置かないでください。火災・爆発の原因になります。

波板囲いなどの禁止



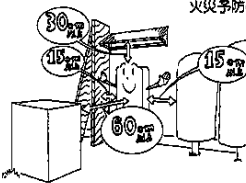
禁止



- この機器は屋外設置形です。ので増設架などによって、屋内状態にしてしないでください。また、波板などによって囲いをすることもおやめください。一酸化炭素中毒の原因になります。

周囲の防火措置について

- 機器のまわりに燃えやすい物(樹木、木材、褥など)がある場合は、最低限必要な距離をとってください。火災予防のため。



子供に対する注意

- 浴そうの排水口の付近で水に落ちたりしないでください。思わぬ事故につながる可能性があります。特に小さなお子様のいる家庭ではご注意ください。

機器の設置・移動工事は

- 機器の設置・移動及び付帯工事は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な設置に正しく設置してください。思わぬ事故につながる可能性があります。

警告

やけどに注意



●シャワーなどお湯を使用するときは、手でお湯の温度を確かめてから使用してください。

やけど予防のため。



●入浴の際には、手でお湯の温度を確認してから入浴してください。

やけど予防のため。

注意

やけどに注意



●排気口のまわりは、使用中や使用後しばらくは高温です。手を触れたりしないでください。

やけど予防のため。特に、小さなお子様のいる家庭ではご注意ください。

感電に注意

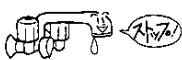


●電源プラグは、ぬれた手でさわらないでください。

感電の原因になります。

異常時・緊急時の処置

1. 総電源を閉める。(使用中の場合)



2. 運転スイッチを「切」にする。



3. ガス栓・給水栓を閉める。



●異常時(排気口から煙が出る、こげ臭いなど)または、地震・火災などの緊急の場合は上記の処置をし、すぐにお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

火災・感電・故障などの原因になります。

電源プラグは確実に



●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

抜き差しはプラグを持って



●電源プラグの抜き差しはプラグを持っておこなってください。

コードを持って抜くと芯線の一部が断線して、発熱・火災の原因になります。

用途について

●給湯・シャワー・お風呂を沸かす以外の用途には使用しないでください。

思わぬ事故につながる可能性があります。

お願い

停電時の処置



●停電したときは、運転が停止します。

●停電後、再通電するとリモコンの時刻表示が点滅表示になる場合があります。

なお、設定した給湯・ふる温度表示なども、お買い上げ時の設定に変わる場合がありますので確認してから使用してください。

(電源プラグを抜いたときも同じです。)

入浴剤や洗剤の注意



●硫黄(イソツ)、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は使用しないでください。

入浴剤や洗剤は注意文を十分にお読みになってから、お使いください。

●機器の熱交換器が腐食する原因になります。

●入浴剤を使用して過い過ぎた時に、沸き上がり音や振動する音が出る場合は、それに従って入浴剤の使用をやめてください。

機器・リモコンの分解禁止



●機器・リモコンは絶対に分解しないでください。

故障の原因になります。

リモコンの掃除



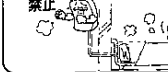
●リモコンの掃除にはベンジンや油類系の洗剤を使わないでください。

変形する場合があります。

●浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

(台所リモコン・増設リモコンは防水タイプではありません。)

お風呂沸かし時の注意



●浴そうの循環口を、タオルなどでふさがしないでください。

循環不良になり、お風呂が沸かさができません。

凍結に注意



●冬期は、凍結による機器の故障予防のため必要な処置をしてください。

(フリーズパーシ)凍結すると水漏れや、故障の原因になります。

雷時の処置



●近くで雷の音が聞こえてきたときは、機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードが埋め込まれている場合は、元のブレーカーを切ってください。

雷害による電子部品の破壊を予防するため。

市販の補助用具使用について

●事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。

思わぬ事故につながる可能性があります。

●水圧の高い地域では泡沫水栓を使用しないでください。

給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものについてはととき内部のフィルター(金網)を掃除してください。

(わからないときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社に確認してください。)

各部のなまえとはたらき-1



機器・リモコンの各部のなまえと位置をご紹介します。

お願い

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は、凍結および万一のガス漏れを防止するため、ガス栓をしめ水抜きをおこなってください。
(p.26ページ)

業務用としての使用禁止

- この機器は家庭用です。業務用には使用しないでください。
いちじろしく機器の寿命が縮まります。

積雪時の注意

- 積雪時には排気口の点検、除雪をおこなってください。
排気口への積雪や屋根から落ちた雪により、排気口がふさがれて不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

太陽熱温水器との接続禁止

- 太陽熱温水器とは絶対に接続しないでください。
お湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯が出るなど、やけどの危険性が高くなります。
また機器の故障の原因にもなります。

お湯の温度について

- 給水温度、お湯の量及び設置条件によりお湯の温度が変化することがありますのでご注意ください。

お湯の量について

- お湯の量を絞らずすぎますと消火しお湯が出ない場合があります。
(p.32ページ)

飲用にお使いのときは

- 朝一番などのように機器内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。

ほこりについて

- 砂や綿などのほこりのたちやすい場所には設置しないでください。
ほこりが給気口をふさいだり、燃焼用送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因になります。

排気ガスについて

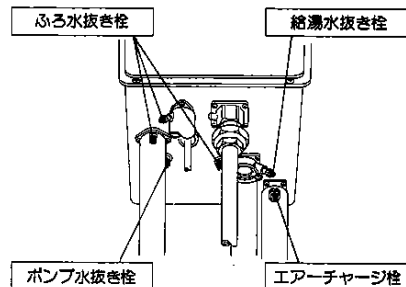
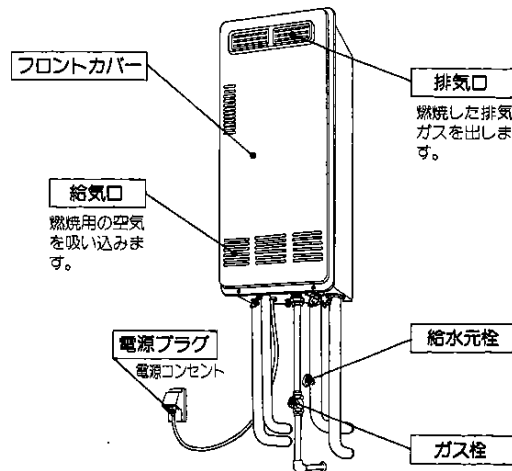
- 排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシなどに当たらないように設置してください。
ガラスが割れたり、変色したりする原因になります。

日常のお手入れ

- 浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。
ゆあかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンとせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

機器本体

● 31-213型の例

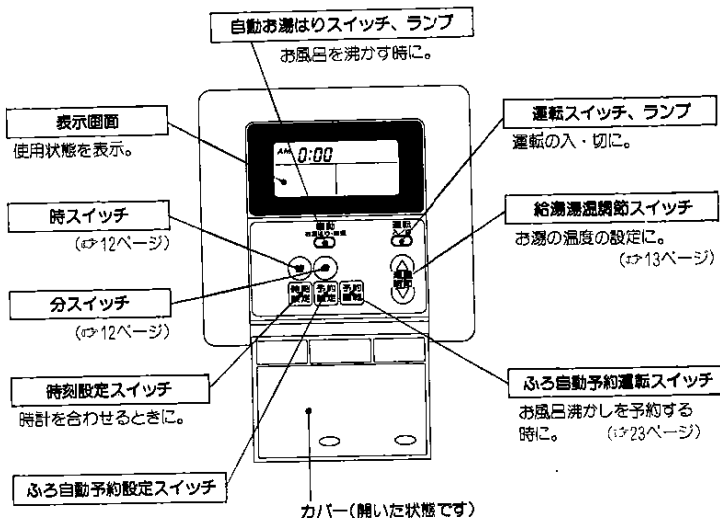


※このイラストは施工例です。
配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

各部のなまえとはたらき -2

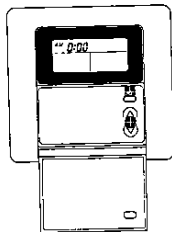
台所リモコン (付属品)

(台所などに取り付けます)



増設リモコン (36-328型) <別売品>

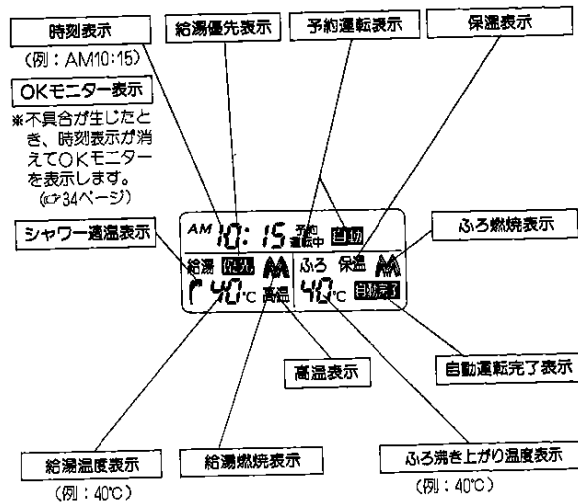
寝室やリビングルームから
・運転スイッチの「入・切」
・給湯湯温の調節
ができます。



※表示画面は台所リモコンと同じです。

表示画面

下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。

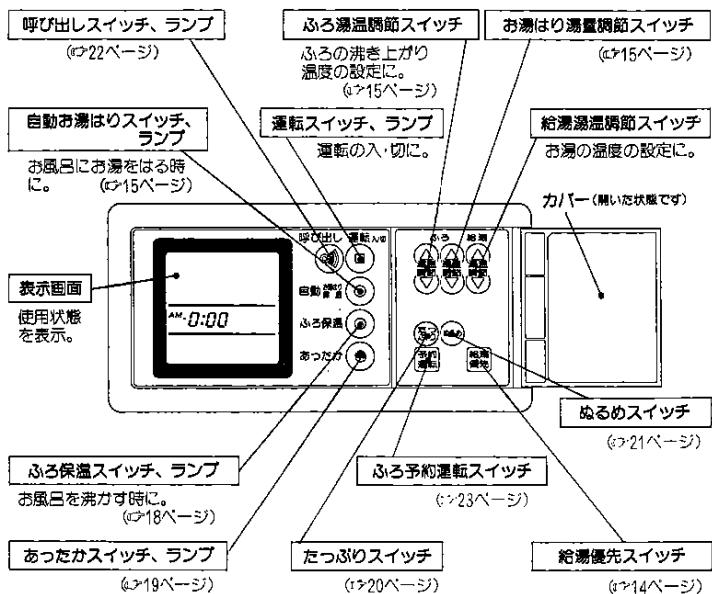


※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

各部のなまえとはたらき-3

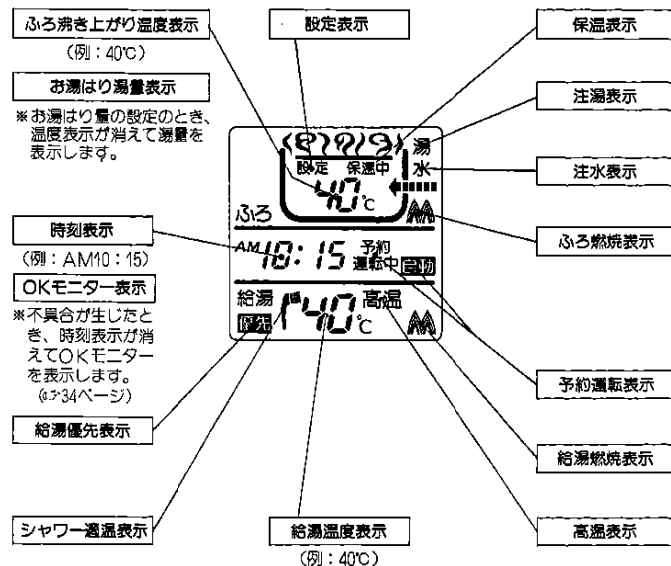
浴室リモコン (付属品)

(浴室に取り付けます)



表示画面

下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。実際の運転のときは、該当部分を表示します。



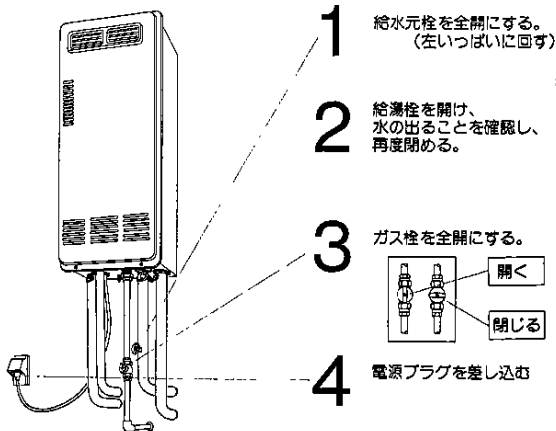
※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

初めてお使いになるときは



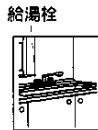
初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

• 1~5の手順でおこなってください。

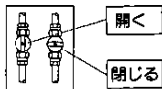


1 給水元栓を全開にする。
(左いっぱい回す)

2 給湯栓を開け、
水の出ることを確認し、
再度閉める。

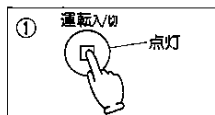


3 ガス栓を全開にする。

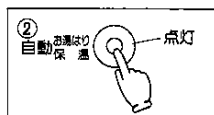


4 電源プラグを差し込む

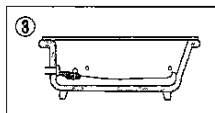
5 ポンプの呼び水をする (浴室リモコン)



① 運転入/切
点灯
押す。
ランプが点灯します。



② 自動お湯はり
点灯
押す。
ランプが点灯します。



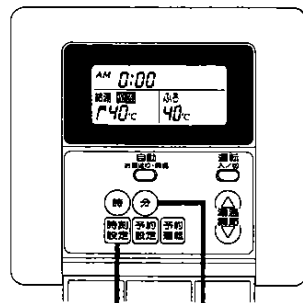
③ 浴そうの循環口からお湯が出てくることを確認する。



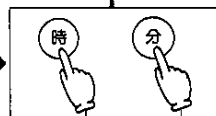
④ 自動お湯はりスイッチを切る。
押す。

現在時刻を合わせる

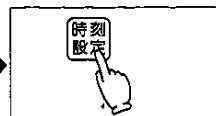
運転スイッチ「入・切」に関係なく設定できます。
(下の画面表示は運転「入」の状態です)



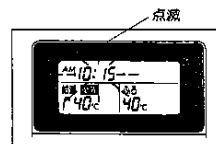
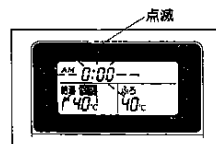
押す。
AM 0:00 が点滅。



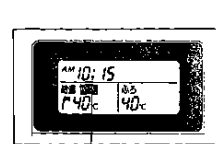
「時」を合わせる。
「分」を合わせる。
1度押す毎に1時間、1分ずつ変わります。押し続けると連続して変わります。



押す。
点滅から点灯に変わり、時計が動き出す。



例、「午前10時15分」のとき



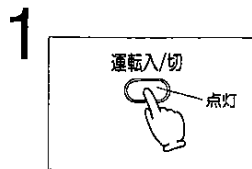
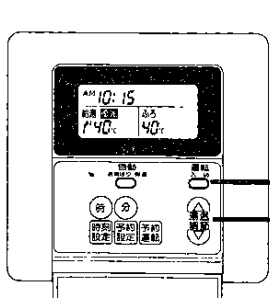
「分」が点滅

初めてお使いになるときは

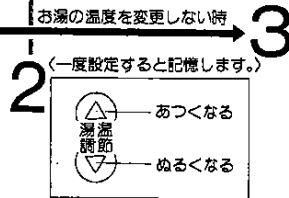
湯の出しかた



お湯の温度を設定して、
お好みのお湯を出しましょう。



押す。
ランプが点灯します。



お湯の温度を変更しない時
1度設定すると記憶します。
温度を調節する。
1度押す毎に1℃ずつ変わります。



給湯栓を開ける。
燃焼表示〈M〉点灯。

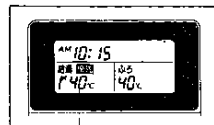


給湯栓を閉める。
燃焼表示〈M〉消灯。

お湯の温度は次のいずれかの温度に
設定できます。(目安の温度) °C

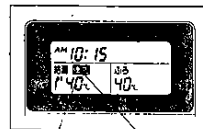
38	39	40	41	42	43	44	45	46	50	60	75
シャワー、給湯など						給湯など			高温		
〈F〉を表示						〈高温〉を表示					

食器洗いなど

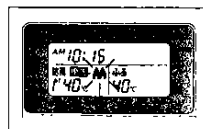


前回到設定した温度(例:40°C)

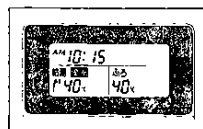
●前回の温度が「75°C」の時は、安全のため「60°C」に変わります。



お湯の温度 優先表示確認



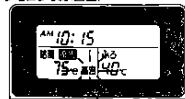
点灯



お願い

60°C、75°Cに設定したときは〈高温〉の表示が点滅(約10秒)後、点灯してお知らせします。

〈台所リモコン表示画面〉



点滅→点灯

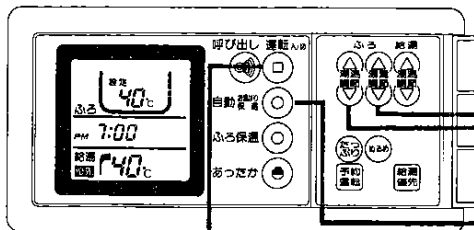
〈M〉を表示しているリモコンでお湯の温度を調節できます。

〈M〉を表示していない場合	
操作しているリモコンが	
台所リモコンなら	浴室リモコンなら
押して切り、 再度 押す。	押す。

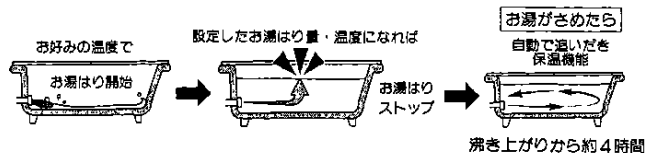
風呂の自動運転のしかた



スイッチポンでお風呂が湧かせます。



お湯はり開始から自動ストップまで、お風呂湧かしは全部おまかせ。沸き上がりから約4時間の自動保温機能。保温中は沸かしただのお風呂に入れます。



運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうの循環口に、フィルターが付いていることを確かめる。
3. 浴そうのふたをする。

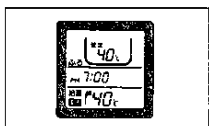


1

運転入切

点灯

押す。
ランプが点灯します。



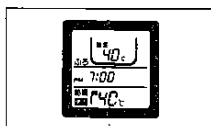
2

お湯はり温度、量を変えないとき

ふろ

あつくなる
ぬるくなる

温度を調節する。
38℃～48℃の1℃きざみで調節できます。
(目安の温度)



沸き上がり温度
(例:40℃)

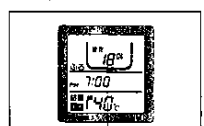
3

お湯はり量を変えないとき

ふろ

ふえる
へる

お湯はり量を調節する。
40～260は20℃きざみ、300.350.400.990の値で調節できます。(目安の量)



お湯はり量
(例:180ℓ)
990ℓは連続の意味です。
お湯はりで自動的にストップしません。

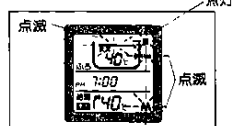
残り湯(水)があるときは、お湯はり量を多くすると浴そうからお湯があふれることがありますのでご注意ください。

4

自動お湯はり保温

点灯

押す。
●ランプが点灯し、お湯はり量を約3秒間表示します。
●しばらくしてお湯はりを開始します。

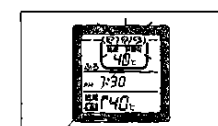


お湯はりの準備が完了したことを示すランプが点灯し、お湯はりが始まります。

5

お湯がさめたら自動で選んだ保温機能

●お湯はりが終わると自動的に消火し、プザーで(約10秒間)お知らせします。
●ふろ保温ランプが点灯し、約4時間保温を続けます。



(ゆけ)点滅、(保温中)点灯

〈メインリモコン表示画面〉

〈保温中〉点滅(約10分間)後、消灯、(保温)点灯



お話し

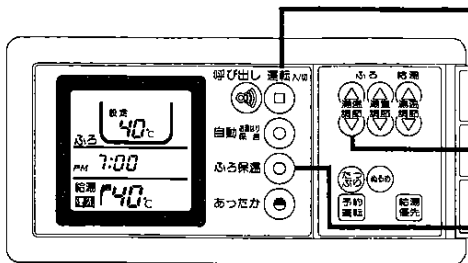
- 前日などの残り湯(水)があるとき、または、自動運転中に給湯を使用すると、沸き上がり時間が遅くなる場合があります。
- お湯はりに、台所・他でお湯を使用すると、お風呂の沸き上がり温度のお湯が出ます。

保温の必要がないときは
もう一度 保温 点灯 消灯 を押す。

風呂の沸かし直しかた



お風呂を沸かし直すことができます。



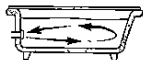
お風呂の温度は次のいずれかの温度に設定できます。(目安の温度)
(単位:℃)

38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ		ふつう								あつめ

お湯の温度が下がったら、約30分毎に自動的に暖めます。
(ふろ保温スイッチを押してから約4時間)

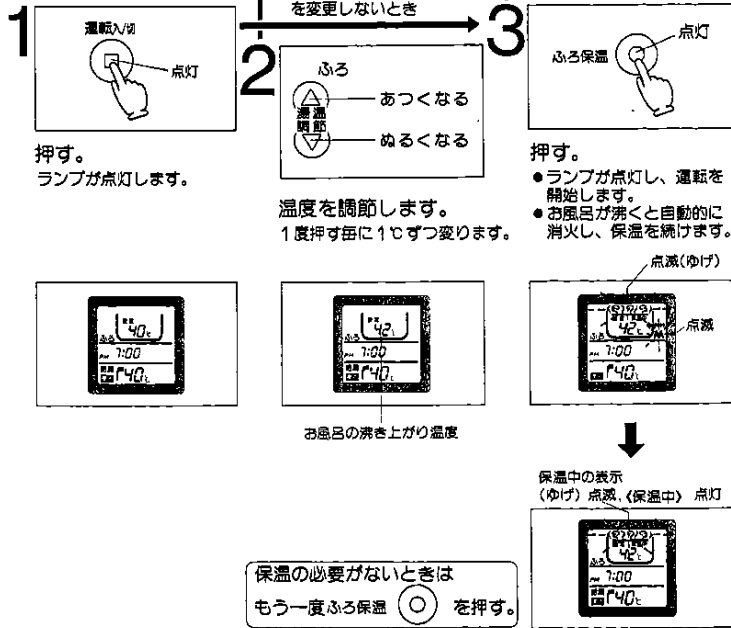
お湯がさめたら

自動でぬいざき
保温機能



運転前の準備

1. 浴そうの循環口上より、5cm以上お湯(水)が入っているか確認する。
2. 浴そうの循環口に、フィルターが入っていることを確かめる。
3. 浴そうのふたをする。

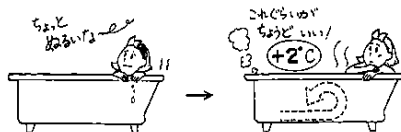


「あったか」運転のしかた



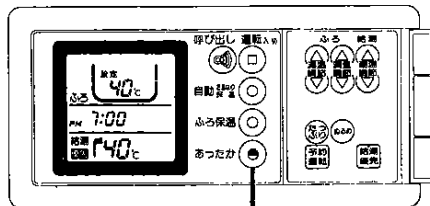
お風呂のお湯の温度を少し上げたい時に使用します。

スイッチを押すと自動的に追いだし、約2℃お湯の温度が上がります。



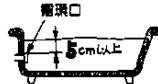
お願い

- 「あったか」運転は、
- 「自動運転のお湯はり中」は、使用できません。
 - 「保温中」は使用できます。



運転前の準備

浴そうの循環口上部より5cm以上お湯が入っているか確認する。



1 運転ランプが点灯していることを確認する。

ランプが点灯していない場合

運転入



を押す。

ランプが点灯します。

2

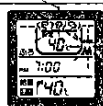
あったか 点灯



押す。

- ランプが点灯します。
- 設定しているお湯の温度より約2℃高めに追いだし、自動的に止まります。(ランプ消灯)
- お湯をませるために約30秒間お湯を循環します。

点滅(ゆげ)



点滅

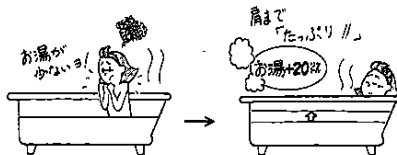
途中で「あったか」運転をやめたいときもう一度あったか を押す。

「たっぶり」運転のしかた



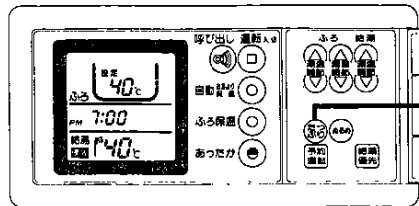
お風呂のお湯はりの量を少しふやしたい時に使用します。

スイッチを押すと自動的に約20%のお湯がふえます。



お願い

- 「たっぶり」運転は、
- 「自動運転のお湯はり中」は、使用できません。
 - 「保温中」は使用できます。
- 「たっぶり」運転中に、
- 台所・他でお湯を使用したとき、お風呂の沸き上がり温度のお湯がでます。



1 運転ランプが点灯していることを確認する。

ランプが点灯していない場合

運転入



を押す。

ランプが点灯します。

2

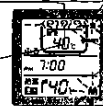
たっぶり 点灯



押す。

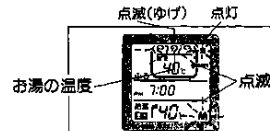
- お湯を約20%足し湯し、自動的に止まります。

点滅(ゆげ) 点灯



点滅

途中で「たっぶり」運転をやめたいときもう一度 たっぶり を押す。



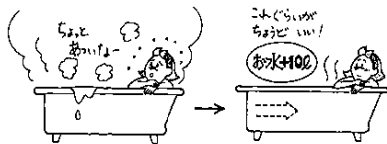
しかた

「ぬるめ」運転のしかた



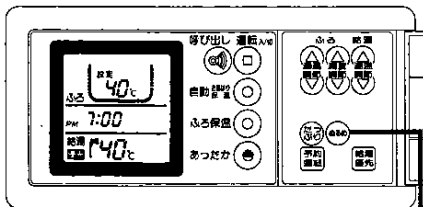
お湯の温度を少し下げたい時に
使用します。

スイッチを押すと自動的に約10ℓのお水がはいります。



お願い

- 「ぬるめ」運転は、
- 「自動運転のお湯はり中」は、使用できません。
 - 「保温中」は使用できます。
- 「ぬるめ」運転中に、
- 台所、他でお湯を使用したとき「ぬるめ」運転は止まります。



1 運転ランプが点灯していることを確認する。

ランプが点灯していない場合

運転入切

を押す。



ランプが点灯します。

途中で「ぬるめ」運転をやめたいとき
もう一度 **ぬるめ** を押す。

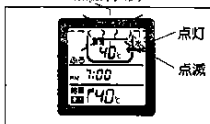
2



押す。

- お水が約10ℓ入ります。
- その後、お湯をませるために約30秒間お湯を循環します。
- お水が約10ℓ入ったら自動的に止まる。

点灯(ゆげ)



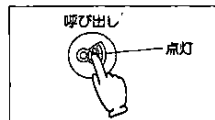
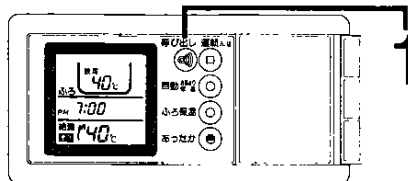
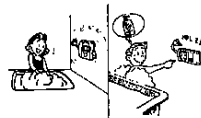
しかた

浴室からの呼び出ししかた



浴室からブザーを鳴らすことができます。

呼び出しスイッチは運転スイッチ「入切」に関係なく使用できます。



押す。
台所リモコンでブザーが約3秒間鳴ります。この間ランプが点灯します。

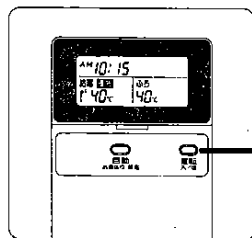
しかた

操作確認音の消しかた、鳴らししかた



リモコンの「ビッ」という音を消したり、
鳴らしたりすることができます。

リモコンは各スイッチを押したとき、正常に動作すると「ビッ」と音がします。お好みによりこの音を消したり、鳴らしたりできます。(お買い上げ時は鳴るように設定しています。)



1 消しかた、鳴らししかた(変更するとき)



を5秒以上押し続ける。



お願い

自動運転の時の完了ブザー、呼び出しブザーは、操作確認音を消しても鳴ります。

「ぬるめ」運転のしかた・浴室からの呼び出ししかた・操作確認音の消しかた、鳴らししかた

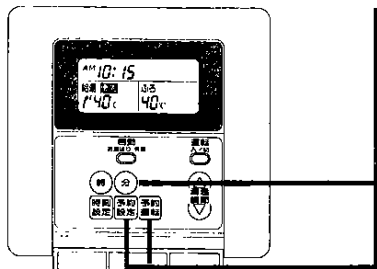
風呂の予約運転のしかた



予約してお風呂を沸かしたいときに使用します。

予約時刻を合わせる

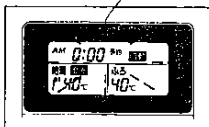
※現在時刻があっているか確認してください。
(時刻の合わせ方p.12ページ)



1

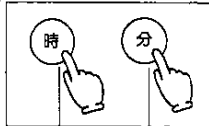


押す。



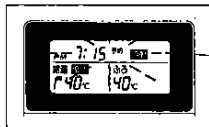
点滅

2



「時」を合わせる

「分」を合わせる



3



押す。

予約時刻の表示が点滅から点灯に変わり、その後現在時刻に戻ります。

予約時刻を確かめたいとき「予約設定」を押す。

例、「午後7時15分」のとき

予約運転のしかた

運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうの循環口に、フィルターが付いていることを確かめる。
3. 浴そうのふたをする。



お風呂を沸かしたい時刻に設定しておけば、その時刻にお風呂が沸かせます。



お願い!

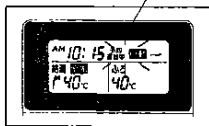
- 残り湯(水)があるときは、お湯はり量を多くすると浴そうからお湯があふれることがありますのでご注意ください。
- 前日などの残り湯(水)があるとき、または、予約運転中に給湯を使用すると、自動完了時刻が遅れる場合があります。
- 予約運転のお湯はり中に、台所・他でお湯を使用すると、お風呂の沸き上がり温度のお湯が出ます。
- 運転スイッチ「入・切」に関係なく予約運転できます。

1



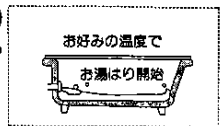
押す。

- 予約時刻を約3秒間表示し、現在時刻に戻ります。

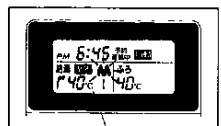


点灯

2

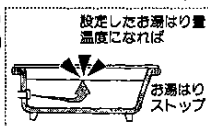


予約した時刻にお風呂が沸き上がるように自動運転を開始します。通常は予約時刻の約30分~40分前

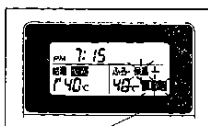


点灯

3



- お湯はりが終わると自動的に消火し、プザーで(約10秒間)お知らせします。
- ふる保温ランプが点灯し、約4時間保温を続けます。



〈保温ランプ〉点滅(約10分間)後 消灯、〈保温〉点灯

予約運転をやめたいときもう一度「予約運転」を押す。

冬の凍結による破損予防-1



冬期には機器内の水が凍結し、機器を破損することがあります。次のいずれかの方法により凍結による破損を予防してください。

通常は自動的に凍結予防します。

給湯側(凍結予防ヒータ)

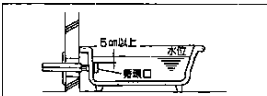
この機器は、気温が下がってくると自動的に凍結予防ヒータが作動して機器内を保温します。



●給水・給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒータを巻くなどの処置をしてください。

ふろ側(ポンプ自動運転)

ポンプで浴そうの水を循環させて、凍結を予防します。



水が循環口より5cm以上あることを確認してください。水がないと、ポンプが空運転し機器から大きな音が発生し、故障の原因となります。

凍結予防ヒータ・ポンプ自動運転は

- 1)リモコンの運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。
- 2)電源プラグを抜くと作動しません。

冷え込みが厳しいとき(給湯栓から水を出す)

給湯側

1. 運転スイッチを「切」にする。
2. ガス栓を開める。
3. お風呂の給湯栓より少量の水(1分間に約400cc…太さ約4mm)を流したままにしておく。



4. 流量が不安定になることがありますので、約30分後に再度流れる量を確認する。

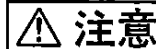
この方法は、機器本体だけでなく給水・給湯配管、給水元栓などの凍結も同時に予防できます。

ふろ側(ポンプ自動運転)

- ポンプの自動運転により凍結予防します。(左記参照)

長期間使用しないとき

水抜きをしてください。

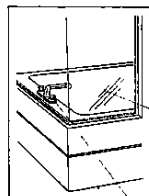


注意

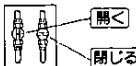


高温注意

お湯を使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。やけど予防のため。



1. ガス栓を開める。



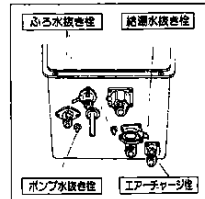
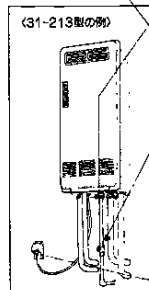
2. 給水元栓を開める。(右いっぱいに回す)

ふろ側

3. 浴そう内の水を排水する。
4. 1)浴室リモコンの運転スイッチを「入」にする。
2)あつたかスイッチを「入」にし、循環口よりお湯が出ることを確認し、5分程度そのままにした後、「切」にする。
3)運転スイッチを「切」にする。
5. すべてのふろ水抜き栓・ポンプ水抜き栓を左に回して開ける。(下図参照)

給湯側

6. すべての給湯栓を全開にする。
7. 1)給湯水抜き栓を左に回して開ける。
2)エアチャージ栓を左に回して開ける。(水抜き栓からお湯又は水が約570cc出ます。)
8. 1)浴室リモコンの運転スイッチを「入」にする。
2)自動お湯はりスイッチを押し、1分程度そのままにした後、「切」にする。
3)運転スイッチを「切」にする。
9. 電源プラグを抜く。(ぬれた手でさわらないで。)



気を付けて!!

水抜き栓から水が出ますので容器等で水を受けてください。特に集合住宅の片下設置やパイプシャフト(ガス・水道メーターおよび配管)内設置などの場合は必ずおこなってください。

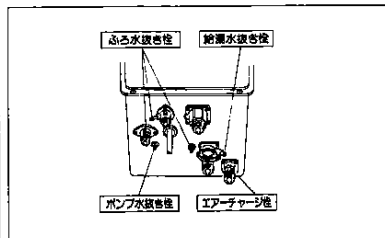


お願い!

水抜きをおこなった場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。これを怠ると、ポンプが破損する恐れがあります。

期の凍結による破損予防-2

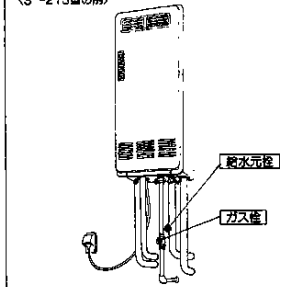
水抜き後の再使用のとき



1. 給湯水抜き栓・エアチャージ栓・すべての給湯栓を開める。
2. 給水元栓を開ける。
3. すべての給湯栓を開け、水が出ることを確認してから開める。
4. すべてのふる水抜き栓・ポンプ水抜き栓を開める。
5. ガス栓を開け、電源プラグをコンセントに差し込む。
6. ポンプの呼び水をします。
(11ページ参照)

凍結して水が出ないとき

(3・-213型の例)



1. ガス栓を開める。
2. 給水元栓を開める。
3. リモコンの運転スイッチを切る。
4. 給湯栓を開ける。
5. ときどき給水元栓を開け水が出ることを確認する。
6. 水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認の上、使用してください。



お願い

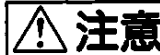
- 凍結したまま使われずと、機器に異常が生じる場合があります。
- 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

常の点検・手入れのしかた



点検予防

安全にお使いいただくため、点検・手入れを必ずおこなってください。



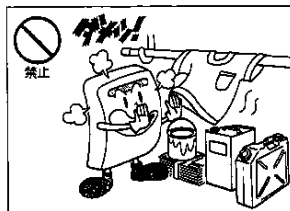
注意



高温注意

機器を使用後は、排気口のまわりが高温になっています。機器が冷えてから、点検と手入れをしてください。やけど予防のため。

点検



- 機器のまわりに燃えやすい物はありませんか。
- 排気口がふさがっていませんか。
- 給気口がふさがっていませんか。



- 機器および配管から水漏れはありませんか。
- 機器の外観に異常は見られませんか。

(お湯を使用中に点検)

- 運転中に機器から異常音が聞こえませんか。

お手入れ



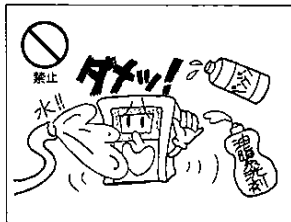
- 機器の外装の汚れは、ぬれた布で落したあと十分水気をふきとってください。特に汚れのひどいときには、中性洗剤をおつかいください。

故障かな?と思ったら-1



修理を依頼される前に、ちょっとお調べください。

お手入れ



●リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。
かわいた布でふいた場合、表示画面（液晶部）が乱れることがあります。故障ではありません。しばらく放置しておくともとの状態に戻ります。

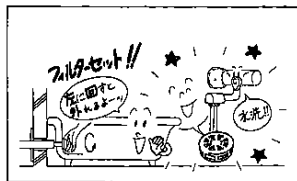


お願い

- リモコンの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使わないでください。変形する場合があります。
- 浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。（台所リモコン、増設リモコンは防水タイプではありません。）

フィルター掃除（月1回程度）

1. 浴そう内のフィルターセットを左に回して外す。
2. フィルターセットを掃除する。
3. 元通り取り付け。



お願い

フィルターセットを外したまま、または、正常に取り付けられていない状態で使用すると、機器が故障することがありますので、必ず正常に取り付けた状態で使用してください。

〈定期点検のすすめ（有料）〉

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

次のことをお調べください



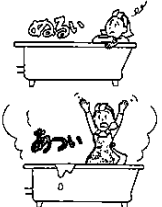
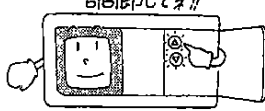
症状	お調べいただきたいこと	
●運転ランプが点灯しない。	停電していませんか？	電源プラグが差し込まれていますか？
●給湯栓を開いてもお湯がでない。 ●使用中に消火した。	全開になっていませんか？	断水していませんか？
	凍結していませんか？	ガスメータ（マイコンメータ）が作動していませんか？
●高温のお湯がでない。 ●低温のお湯がでない。	全開になっていますか？	リモコンの給湯温度設定は適切ですか？（p14ページ）
		言語節してね!!

故障かな?と思ったら-2



次のような場合は、それぞれ理由があり心配ないものです。

次のような場合は故障ではありません

症 状	お調べいただきたいこと
<ul style="list-style-type: none"> 「あつたか」運転ができない。 「あつたか」運転中に消火した。 	<p>浴槽の循環口上部より5cm以上お湯または、水が入っていますか？</p> <p>ポンプの呼び水をしましたか？(P.11ページ)</p> 
<ul style="list-style-type: none"> お風呂のお湯がぬるい。 お風呂のお湯があつい。 	<p>リモコンのふろ湯調節器は適切ですか？ (P.15ページ)</p> 

故障かな?と思ったら(次のことをお調べください)

こんな場合	お答えします
<p>給湯栓を絞らずに水になった。</p> 	<p>給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3.5ℓ以下になったとき消火します。</p> <p>★給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。</p>
<p>給湯栓を開いてもすぐお湯が出てこない。</p> 	<p>機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。</p>
<p>お湯が白く濁って見える。</p> 	<p>これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に満圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違い、無害です。</p>
<p>寒い日に排気口から白い煙が出る。</p> 	<p>冬に、はく息が白く見えるように排気ガス中の水蒸気が白く見えます。</p>

故障かな?と思ったら(次のような場合は故障ではありません)

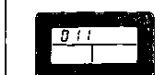
故障かな?と思ったら-3



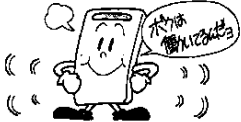
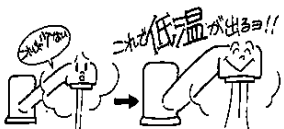
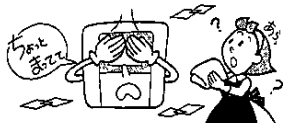
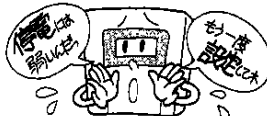
リモコンの画面に下記の表示がでたら、修理を依頼される前に
ちょっとお調べください。









OKモニターをお調べください

(例) <011>を表示したとき



この機器は不具合が生じたとき、その原因をOK
モニターで表示(点滅)する機能があります。下
表に応じた処置をおこなってください。

こんな場合	お答えします
<p>運転を停止してもしばらくの間ファンの回転音(フーン)がする。 ポンプの回転音(ウーン)がする。</p> 	<p>再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転します。 ふろ追いだし運転終了後、お湯をまぜるためにポンプが約30秒間回ります。</p>
<p>低温のお湯がでない。</p> 	<p>夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。 ★給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。</p>
<p>表示画面(液晶)が乱れている。</p> 	<p>リモコンをかわいた布で拭いた場合、液晶表示が乱れることがあります。(30分以上放置しておくと正常に戻ります。)</p>
<p>表示画面が点滅表示になっている。</p> 	<p>停電後、再通電すると表示画面の時刻表示が点滅表示になる場合があります。なお、給湯・ふろ温度表示・お湯はり量表示などもお買い上げ時の設定に、変わる場合がありますので確認し、再設定してください。 (11~23ページをご覧ください。)</p>

表示	原因	処置
011	 <p>連続60分以上運転すると...</p> <p>給湯を連続60分以上運転したため</p>	<p>給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。</p> 
012	 <p>連続90分以上運転すると...</p> <p>ふろ追いだしを連続90分以上運転したため</p>	<p>運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。</p> 
111	 <p>給湯側の炎(燃焼)を検出できなかったため</p>	<p>運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして給湯栓を開いて、表示が出なければ正常です。</p> 
112	 <p>ふろ側の炎(燃焼)を検出できなかったため</p>	<p>運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にしたがスイッチを押して表示が出なければ正常です。</p> 
632	ポンプの呼び水の不足のため	呼び水をする。(p11ページ)
	浴そうの排水栓の閉め忘れ	排水栓を開ける。

下記の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

- 上記以外の表示(例:511など)が出るとき
- 上記の表示が頻りに繰り返すとき
- その他、わからないとき

フターサービスについて

サービスを依頼される時



●30~34ページの「故障かな?と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社に連絡してください。

連絡していただきたい内容

- ・品名・品番(保証書をご覧ください。また、下のようなラベルを機器側面に貼付けてあります。)
- ・お買い上げ日(保証書をご覧ください。)
- ・異常の状況(OKモニターの表示など、できるだけ詳しく)
- ・ご住所・ご氏名・電話番号
- ・訪問ご希望日

(例) **(N) 31-213(U)**
大阪ガス株式会社

保証について

- このガスふろ給湯器には保証書がついています。必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。保証書の内容をよくお読みになった後は、大切に保管しておいてください。
- 無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

- この機器の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後10年です。なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

- 転居などで機器を移設される時は、機器に表示(銘板)してあるガス(ガスグループ)・電源(電圧・周波数)が、移設先と合っているか、必ずご確認ください。不明の場合は、移設先のガス事業所、お買い上げになった販売店または、もよりの大阪ガス支社にご相談ください。
- ガス(ガスグループ)などの異なる地域へ移設される時は、機器の改造・調整が必要で、この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

仕様

仕様表

製品名		31-213型	31-214型	補足説明
		GT-168SAW	GT-168SAW-C	当社の製品名
型式名		GT-168SAW	GT-168SAW-C	銘板に記載している名称
種類	給湯方式	先止め式		給湯栓の開閉で点火・消火できる構造の機器を示す
	設置方式	屋外設置形		屋外に設置して用いるもの
点火方式		放電点火式		放電火花による点火方式
水圧	使用水圧	98.1~981kPa (1.0~10.0kgf/cm ²)		使用できる水圧
	作動水圧	9.81kPa (0.1kgf/cm ²)		機器が作動する水圧
最低作動流量		3.5ℓ/min		機器が作動する流量
外形寸法		高さ615mm×幅251mm×奥行265mm		機器の外形寸法
質量(本体)		25kg		機器本体の質量
接続口径	ふろ(往き・戻り)	R1/2		各配管との接続口径
	給湯	R1/2		
	給水	R1/2		
	都市ガス	R1/2		
電気関係	電源	AC100V (50/60Hz)		機器を使用できる電源
	消費電力	135W/170W (凍結予防ヒータ183W)		稼働時(能力大)の消費電力 (凍結予防ヒータ稼働時)
	電源コードの長さ	2m		機器の電源コードの長さ
湯温制御方式		電子式ガス比例制御方式		お湯の湯温を制御する方式
安全装置		圧消え安全装置、強火安全装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき安全装置、飛塵防止装置		各安全装置の名称

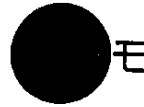
使用ガスグループ	1時間当りのガス消費量 (最大消費量kcal/h)			出湯能力(最大時) (ℓ/min)	
	給湯ふろ併用	給湯側	ふろ側	水温・20℃上昇	水温・40℃上昇
都市ガス用 13A	46.5kW (40,000kcal/h)	34.9kW (30,000kcal/h)	11.8kW (10,000kcal/h)	16	10

※本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
 ※出湯能力は湯水混合の計算値です。
 但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
 ※ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。



メモ欄として活用してください。

A large rectangular area enclosed by a dashed line, intended for taking notes.



メモ欄として活用してください。

A large rectangular area enclosed by a dashed line, intended for taking notes.